

RAG 型生成 AI サービス【OfficeBot】が 画像認識に対応

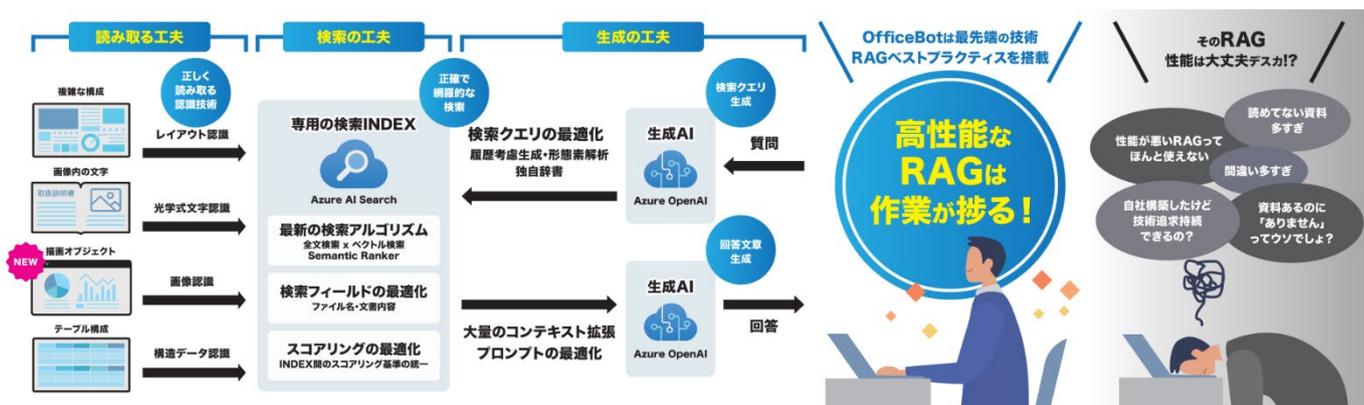
資料中の図やグラフなどのオブジェクトを参照した自動応答が可能に

テクミラホールディングスの子会社であるネオス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:池田 昌史、以下 ネオス)はこの度、AI チャットボットサービス【OfficeBot】において、生成 AI による画像認識を活用した「オブジェクト読取機能」を実装しました。従来のテキスト情報に加えて、図やグラフ、写真、イラストなどの抽象的なオブジェクトも認識して言語化することが可能となり、より多様な利用シーンに対応いたします。本機能は 12 月上旬より順次提供を開始してまいります。

図表やグラフも正確に解析！さらに高度なチャットボット活用を実現

【OfficeBot】では、生成 AI を用いた RAG※技術を取り入れることにより、PDF や Office ファイルなどのさまざまな形式の資料から情報を読み取り、ユーザーの質問に正確かつ網羅的に回答する高性能なチャットボットとして多くの組織に導入されてきました。一方で、従来の技術では図・グラフ・イラスト・写真といったテキスト以外のオブジェクトを正しく読み取ることが難しく、RAG の品質やユーザビリティの面で大きな課題となっていました。

今回のアップデートでは、画像認識に対応したマルチモーダル型の生成 AI を駆使することにより、資料に含まれるオブジェクトが示す内容や意味を正しく理解/言語化し、ユーザーに情報として提示する機能を開発いたしました。これにより、画像やグラフなどが多用されたパンフレット、マニュアル、企画書、レポートなどの資料も、チャットボットにより有効活用することが可能となります。



また、チャットボットにおける画像認識は複雑な処理を必要とするため大きな計算コストを要しますが、アップデート後も利用価格は据え置きとすることで、より多くのお客様が【OfficeBot】の利便性を体験し、DX の機会創出に繋がっていきたくて考えております。

今後も【OfficeBot】では最新技術を取り入れたサービスを展開し、生成 AI 活用による業務効率化やナレッジ共有などの課題解決を支援してまいります。

※RAG (Retrieval Augmented Generation) : 生成 AI に外部ソースなど独自の情報源を付与することで回答精度を向上させる仕組み

【OfficeBot】について

【OfficeBot】は 2016 年の提供開始以来、自然言語処理技術を活用した AI アシスタントサービスとして業界・業種問わず、企業や自治体を中心に幅広く導入されています。ChatGPT をはじめとする生成 AI の利用拡大に伴い、日本国内でいち早く RAG に対応し、最先端 AI サービスを統合、豊富な導入実績とベストプラクティスを活用した検索アルゴリズムと対話プロンプト技術による高品質な RAG をリーズナブルに提供しています。

現在は最新言語モデル「GPT-4o」に対応のほか、多言語への対応や、AI OCR 機能の実装など、様々なユースケースにも対応できる実践的な機能を拡充しております。組織における生成 AI 活用をはじめとした DX、問合せ業務効率化やナレッジ共有による属人化の解消などの課題解決を支援します。

【OfficeBot】サービスサイトはこちら：<https://officebot.jp/>

高品質なRAGを圧倒的にリーズナブルな価格でご提供

高品質の理由



最新モデル GPT-4o



Azure AI Search



豊富なtoken量

網羅的で関連性の高いRAG実行結果を提供

圧倒的にリーズナブルな料金体系

50 GB

の社内資料が使える

毎月
3000 万文字

たっぷり使える

最新モデル
GPT-4o

が使える

何人使っても料金固定で月額5万円～

※キャンペーン価格

内閣府「RESAS活用AIアシスタント」を用いたRAGの性能評価試験より(自社調べ)

質問に対するBOTの回答を以下項目で評価&スコア化

回答の全ての情報が正しく、かつそれぞれに出典を提示
資料には情報が無いと宣言し、本当に情報は無い
資料には情報が無いと宣言し、LLMの事前学習データに基づいて回答
回答中に、一つだけ間違った情報が存在する。それぞれに出典を提示
回答中に、二つ以上の間違った情報が存在する。それぞれに出典を提示
回答の全ての情報が正しいが、出典を提示しない
回答の全ての情報が間違っている ※出典の有無は考慮しない
資料には情報が無いと宣言せずに、LLMの事前学習データに基づいて回答
資料には情報が無いと宣言しているが、本当は情報がある

評価指標	Copilot for Microsoft 365	Office Bot
回答の正確性	50%	91%
情報の網羅性	54%	97%
サービスの信頼性 (=総合評価)	52%	94%

一般的な生成AIよりも
RAGにより簡便かつ
正確な回答を提示

AI ソリューション【Aidea Suite】のご紹介

ネオスでは、チャットボット事業を通じて培ってきた AI の知見や技術を活かし、各社専用のセキュアな AI チャット環境をスピーディーに構築・提供することが可能なフレームワーク【Aidea Suite】を提供しています。組織内における安心・安全な GPT 利用に加え、固有の業務やサービスニーズにフィットさせた AI ソリューションへのカスタマイズにも対応しています。企画検討段階からご要望に応じた活用提案を行うことでビジネスにおける GPT モデルの活用を幅広く支援するとともに、最新言語モデル「GPT-4o」対応により最先端の AI 導入を手軽に実現いたします。



【Aidea Suite】サービスサイトはこちら：<https://ss.neoscorp.jp/solution/ai/gpt/>

<テクミラホールディングスについて>

【商号】テクミラホールディングス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

【上場市場】東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3627）

【代表者】池田 昌史

【URL】<https://www.tecmira.com>

【グループ事業内容】

◆ライフデザイン事業

知育・教育、健康、FinTech、キャラクター等におけるデジタルテクノロジーを活用したサービスとソリューションを提供

◆AI&クラウド事業

AI チャットボットやクラウドアドレス帳サービスなどの SaaS や AWS 等を活用した Tech ソリューションを提供

◆IoT&デバイス事業

通信デバイスの開発・製造や関連したプラットフォーム・アプリの開発を通じて、モノとインターネットを融合した価値を提供

<ネオスについて>

【商号】ネオス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

【URL】<https://www.neoscorp.jp>

【代表者】池田 昌史

【事業内容】情報通信サービスおよびソフトウェア、コンテンツ開発

<このニュースリリース・素材の提供に関するお問合せ先>

テクミラホールディングス株式会社

担当：経営企画部 広報チーム

Email: info@tecmira.com

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

<https://www.tecmira.com>

※記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名は、すべて各社の商標または登録商標です。

※Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。